

四月 春の息吹とともに、新たな一歩。

坂井 佳朋（ちかまる寮ハウスマスター）

4月から、2人の中学1年生が親元を離れ、新たに『ちかまる寮』での生活をスタートさせました。小学校から中学校に上がるこの時期は、学習内容を含め、周りの環境が大きく変わるのももちろんのこと、思春期や反抗期が重なって、自分自身の考え方や見方も大きく変わっていく時期だと言われています。あらゆることが、大きく変わる「大変」な時だからこそ、精神的に不安定になり、不安や寂しさに押しつぶされそうになるかもしれません。そんな時は、地域の皆さまの温かいサポートが何より不可欠です。

子どもたちは今、勇気と覚悟を持って、未知の世界に飛び込み、友情を育み、知識を深め、夢に向かって歩み始めようとしています。地域の方々には、そんな子どもたちの成長を見守り、小値賀の一員として受け入れ、心強く支えていただきたいと願っています。

子どもたちが新しい生活に順応し、島の人の優しさ、強い風、海の香りといった、バーチャルでは体験できないものを体感して、知識や経験として自分の中に積み

重ねていくためには、地域の皆様の温かい歓迎と励ましがが必要です。地域の方の存在が、大きな意味を持ちます。『一人一人の夢の実現』へ向けた新たな一歩を隣で見守りながら、伴走していただければ幸いです。

これから始まる小値賀での日々が、子どもたちにとって素晴らしい冒険となりますよう、温かいご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



田 幹夫（ちかまる寮ハウスマスター）

ちかまる寮では新たな門出を迎え、留学生3名が小値賀を旅立ちました。それぞれが島暮らしを通して学んだこと、経験したものを今からの生活で活かして欲しいと思います。

令和6年4月からは、新たなふるさと留学生2名を迎えました。そのうち1名はしま親留学生からの継続生になります。

本年度は昨年以上に地域行事に参加させて、いろんな事を学んで欲しいと考えています。特に継続する寮生がその架け橋になってくれたらと願っています。

ふるさと留学では「感謝・自立・共生・協調の意識高揚、向上心・挑戦心の育成」を大事にしています。

留学生だけで身に付けるには難しいかもしれません。我々周りの大人が積極的に伝えていきたいと思っています。

これからも引き続き、ふるさと留学の取組をよろしくお願いします。



◎ちかまる寮ハウスマスター

寒の戻りで桜の開花も遅れましたが、春は巡ります。

ひと足遅れで満開の桜にツツジが追いつくという不思議な春花が咲き乱れるなかで、新しいふるさと留学生をちかまる寮に迎えています。

今回は福岡県から2名の中学1年生の女子寮生を迎えています。

うち1名は昨年のしま親型留学からの継続です。

入寮日には、保護者を交えての懇親会を開きました。

メニューは長崎らしさということで皿うどん。そして副菜に春巻き。ところが、どの店舗を回っても春巻きの皮が見当らず、調理人さんのひらめきで、ライスペーパーを使って揚げ焼きにしたところ、これがとても美味しく大正解!調理人の創意工夫でこの難局を乗り越えることが出来ました。

留学生は親元を離れた生活が始まり、小値賀での生活に楽しみと同じくらいの不安を抱えていると思います。ハウスマスターとして、島暮らしを通して心身ともに大きく成長していく過程をサポートしていきたいと思っています。



令和6年度ふるさと留学生を紹介します!

今年のふるさと留学は、継続生1名と新しい留学生1名の計2名の留学生が小値賀での新生活をスタートさせました。笛吹在地区にある「ちかまる寮」でハウスマスター等の寮運営スタッフとともに過ごしています。

町民皆様におかれましては、離島の生活に憧れ、自分の力で頑張ろうと決意して来た留学生たちを、小値賀の子どもたちと同様に温かく見守っていただき、時には話しかけていただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

入寮型留学生



おやま
小山 るり

出身 福岡県
学年 小値賀中学校1年生
趣味 サイクリング
好きな教科 体育・歴史・数学
頑張ったこと・やってみたいこと 小値賀の魅力や自然を学びたい

入寮型留学生



いのうえ
井上 みち

出身 福岡県
学年 小値賀中学校1年生
趣味 野球観戦
好きな教科 外国語・国語
頑張ったこと・やってみたいこと この生活に慣れる! いろいろな人と関わりたいです😊

声 コエ koe こえ

ちかまる寮ハウスマスター

6月になりました。ちかまる寮では、今日も様々な声が響き渡っています。

釣りをしても魚に触れず、今まで聞いたこともないような低い声で「うわああ」という、恐怖の叫び声。

自転車に乗って、長寿寺で行われた変面ショーに行く途中に見た、海面のキラキラに「ありえん!!」という、心の底から感動した声。

田植え体験では、泥だらけでアカハライモリに怯えながらも「無心になれる」という、悟りを開いた声。

入寮記念手形をとる時、利き手の右ではなく「左手でもいい?」という、己の個性を感じさせる声。

学校から帰り「ただいまああ!お腹すいた!」という、元気な声。

柿の浜海岸で、海を見ながら「もう入りたい!泳ぎたい!」という、夏を楽しみにするウキウキわくわくの声。

2人でサイクリングに出かけ、途中で買ったアイスクリームが「おいしかった」という、幸せそうな声。

毎朝の挨拶「おはようございます」「行ってきます」そして毎晩の「おやすみなさい」という、日常生活の中に溶け込む声。

私たち大人が、毎日聞こえてくる子どもたちの声に、元気をもらったり、背中を押してもらったりすることも、たくさんあります。お互いが支えあいながら、小値賀という地域に見守られながら、日々成長していています。



梶 立人 (イベントの企画、運営)

【自己紹介】

初めまして。私は4月から小値賀町に地域おこし協力隊として来ました梶立人(カジタツヒト)と申します。小値賀島に訪れたほとんどの人が目をキラキラさせて戻ってくることを目の当たり



にし小値賀島に興味を抱きました。そこで長崎大学多文化社会学部を休学し地域おこし協力隊に就任いたしました。小値賀島の一番の魅力は人の良さですが、魅力の一つに島外資本の流入が少ないことが挙げられます。コンビニなどのチェーン店がないため見たことがあるようでないようなそんな不思議な感覚が島外出身者の中にあるのではないかと思います。「愛の心で他人の子もしましょ」という看板を堂々と掲げられる町が日本にあとどのくらい残っているのかわかりません。

他人の子をしかる行為は変質者として通報される場所がほとんどです。町全体での子育ては親の負担を軽減させる為、絶対に必要なことです。さて、私は地域おこし協力隊としてイベントの企画・開催を行います。目的は島内の活性化、そして島外出身者に小値賀島の魅力を発見してもらうことです。そのために何ができるのか町民の方々と一緒に模索していきたいと考えています。ぜひ町民のお力添えを頂けると幸いです。

【活動予定】

ピカソのゲルニカをモチーフにしたキッズゲルニカというものを町民と一緒に作成してみようと考えています。野外映画も検討しております。その他「こんなことしてほしい!したい!」などありましたらQRコードを読み取っていただき送信していただければ幸いです。



ちかまる寮ハウスマスター

5月13日月曜日に寮生にとって初めての中高合同体育祭が行われました。

当初予定されていた日曜日は生憎の大雨となりましたが、月曜日は見事な晴天。初夏を思わせる陽気のなか、競技や係活動を頑張っていました。

今年の寮生はふたりとも中学一年生なので、なにもかもが初体験。体育の授業が増えたり、先輩や高校生との合同練習など慣れないことの連続で毎日へとへとになって帰ってきていました。

それでも、夕食後にふたりでダンス練習をするなど、限られた時間のなか一生懸命頑張っていました。このダンスが気に入ったのか、体育祭後も寮で時々踊っています。また、好奇心溢れるふたりは、このダン



スを民泊体験に来島された海外からのお客様に披露しました。

寮生同士が参加する種目を書き出していくと、「これ殆ど出ているよね」と感じるぐらいの参加種目の密度の濃さで、「今までの学校ではありえないよね」と笑い合っていましたが、積極的な行動が垣間見えたやり取りでした。

体育祭当日は、ご家族の方も応援に来られており、寮生にとっては久しぶりに保護者へ頑張っている姿を見てもらいうい機会にもなったのではないかと思います。ちかまる寮スタッフにとっても、生徒みんなで作り上げる小値賀らしい体育祭を通して、生徒の一員として頑張っている寮生の姿は、嬉しく感じる一日でした。



梶 立人 (商店街活性化)

こんにちは。先日、小値賀町内の有志の方々に集まいただき、「おぢかにぎやかそかい」第1回目の会議を開催いたしました。内容は、今後の「おぢかにぎやかそかい」の運営体制や次に開催されるイベントの内容を話し合うというものでした。「おぢかにぎやかそ

かい」は、今後小値賀町でのイベントの企画、開催、運営を行っていく予定です。私の任期が終了しても、この取り組みを続けていきたいと考えていますので、イベントと一緒に盛り上げていただける方がいらっしゃいましたら、どうぞ気軽にお声がけください。



商店街に鯉のぼりを飾った際の制作シーン(不要のビニールで子どもたちと)5月

ちかまる寮ハウスマスター

寮生たちは、自分の生まれた故郷を離れて、現在は小値賀で第二の故郷を築こうと、かんころ餅を作るためのサツマイモの苗を植えたり、おぢか山学校主催のカヌー&サップ体験に参加したりして、日々奮闘しています。地域の方々のお世話になりながら、様々な島暮らしを体験しながら積み重ねていく島での時間が、

子どもたちの意識の中に「故郷」を作っていくのだと感じます。

将来、寮生が大人になった時には、お盆の時期になるとなぜか小値賀の景色が心に浮かぶようになることを願っています。



ハウスマスターの畑でお手伝い



緊張のサップ初体験

梶 立人（商店街活性化）

こんにちは。本格的な夏が始まり暑い日が続いております。7月は小値賀町内の子ども達総勢20数名と「キッズゲルニカ」※を作成しました。一人一人がそれぞれの考える平和・幸せについてキャンバスにぶつけ、大作を作り上げました。制作した作品は7月の間、商店街に飾り多くの方の目に留まったかと思います。また、この作品を見るために商店街へ足を運んでくださった方々もいます。この作品は今月の8月1日から1ヶ月近く長崎市内の原爆落下中心地公園の下の川に展示されます。8月に長崎市内に赴く予定がある際はぜひ足を運んでみてください。



当日の制作風景

※「キッズゲルニカ」とは…世界各地の子どもたちによって、ピカソの『ゲルニカ』と同じ大きさ（縦3.5m×横7.8m）の平和の絵を描くという国際子ども平和壁画プロジェクト

ちかまる寮ハウスマスター

真夏が続いた夏休み。留学生たちは実家で家族との時間を過ごしました。

1学期は、初めての寮生活と中学生生活に戸惑いながらも留学生なりに小値賀の生活を送りましたが、島暮らし体験を通して小値賀のことを学ぶという取り組みが思うようにできませんでした。

そこで、2学期を迎えるにあたり、ちかまる寮では島

暮らし体験の取り組み方法についてハウスマスターみんなで話し合いをしました。

小値賀の魚を食べるにしても、魚を自分たちで釣り、そして捌く。ただ、食べるだけではなく、魚を釣るための場所や準備の仕方を学ぶといった過程を経験することで、一貫した島暮らし体験を通して地域理解を深めて欲しいと思います。



梶 立人（商店街活性化）

こんにちは。先月の『おぢか新聞』に書かせていただいたキッズゲルニカについて、長崎国際テレビ、長崎新聞、読売新聞など、複数のメディアに取り上げていただきました。さて、8月は島内でイベントが盛りだくさんの月でございました。『おぢかにぎやかそかい』では、七夕を開催させていただきました。小値賀島の七夕行事は旧暦の8月7日に行われるとの情報を得まして、「これは是非開催するしかない!」と企画いたしました。ターミナルなどの人が集まる場所に短冊を設置し、島民の皆様や観光客の方々に願い事を記していただき、商店街に飾らせていただきました。多くの方が島の未来に

ついて願いを綴られていました。また、小値賀島に東京藝術大学の一行が来島されました。藝大生の皆様と共にイベントと一緒に企画し、納島で凧揚げを開催させていただきました。これにより、島民の皆様、特に子供たちとの二次離島との関わりが深まったものと思います。東京藝術大学の学長も小値賀島に訪れ、座談会を開いていただきました。長崎大学からも複数の教授が集まれ、小値賀島の今後について東京藝術大学と熱心に議論を交わされました。教授の皆様は、小値賀島のファンであると仰っておられました。



ちかまる寮ハウスマスター

猛暑の夏が過ぎ去り、過ごしやすい季節になっております。春、緊張と不安で押しつぶされそうだった寮生ですが、秋を迎え、寮での生活も無事に半年が過ぎました。今日まで二人は、島の皆様に見守られて、それぞれのペースで日々成長しております。いつも支えて頂き、ありがとうございます。

そんな二人が、島の魅力や寮生活の楽しさをより多くの方に知ってもらいたいと、SNS (instagram) で発信しております。それぞれが、心に浮かんだ感情を自分の言葉で表現していますので、是非こちらも応援して下さい。よろしくお願い致します。

最後に、少しだけ投稿内容を紹介させていただきます。



左記QRコードもしくは、
@ojkdormitoryで検索！
フォローお願いします！！

夏休みが終わり、無事に小値賀へ帰ってきました。久しぶりにタンタンへ行きました。おしゃべりが止まりません。二学期へのドキドキ、不安も共にありますが、自分達らしく日々全力投球で、楽しんでいきます♪



梶 立人（商店街活性化）

こんにちは。8月の小値賀島は多数のイベントがありました。夏祭りや、アジ釣り大会、流しそうめんなど、移住した後初めて参加したイベントが多かったです。中でも、準備から片付けまでの一連の流れで参加した夏祭りの経験は大変濃密なものでした。商工会青年部を中心に町内の屈強な男性方が総出で汗を流しながら準備を進めていく様子は、まさに圧巻でした。



また、8月20日から9月17日まで、長崎県立大学の学生が”しまなび”プログラムとして小値賀島に滞在されました。同じ大学生として、学生の方々に小値賀島のことや地域おこし協力隊についてアピールさせて頂きました。この機会を通して、小値賀島に興味を持っていただけの学生が次々と増えていき、大学がないのに大学の教員や学生がたくさんいる島になると面白いですね。



ちかまる寮ハウスマスター

2学期は、留学生にとって最も忙しい学期になります。

秋風に変わる頃、天候不順で延び延びになっていたBBQ大会を開催しました。このイベントでは留学生が皆のおにぎりを握るのを習慣にしていました。

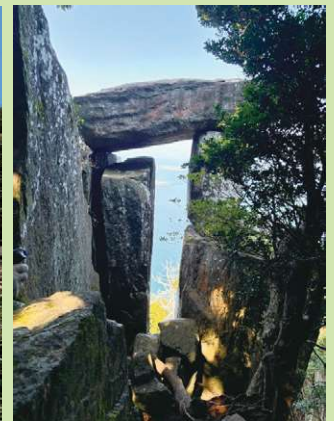
ですが、留学生がそれだけではなく、自発的にお肉を焼いて、ハウスマスターに配膳してくれるなど、`やってもらっている、`のではなく`一緒にやる、`という気持ちを見ることができ、とても感激しました。

地域活動の一環として、小値賀の子どもや大人たちに混ざって龍踊りに参加したり、笛吹在地区の行事に参加しました。これからも地域の一員として、忘れられない体験を積んで欲しいと願います。



梶 立人（商店街活性化）

9月は六社神社祭りや宵の祭りに向けての準備や練習の日々を送りました。獅子舞や龍踊りはいずれも初めて参加するため新鮮で小値賀町に来てから初めての経験ばかりさせていただいております。小値賀町は移住したての人も快く祭りに巻き込んでいただける心が広い人が多いなあと感じました。人口減少に伴って各地区が祭りを開催することが困難になりつつありますが、今回の龍踊りのようにその地区の人が中心となりつつも小値賀全体から有志を募るといったことも祭りが消滅してしまうことよりはいいでしょう。町の規模が少しずつ縮小しているからこそ一致団結して小値賀を守っていく、盛り上げていくことが必要です。野崎島レスキュー隊事業に参加させていただきましたが、その際により強くそのように感じる事ができました。これからも町民のお力をたくさんいただくとは思いますがご協力よろしくをお願いします。



秋の思い出 ちかまる寮ハウスマスター 坂井 佳朋

今年の秋を振り返ると、自然や地域の魅力に触れながら、様々な「〇〇の秋」にふさわしい充実した体験に恵まれました。

まず、芋ほり体験では、土の中から自分たちで芋を掘り出すことで、収穫の喜びとともに働くことの楽しさを感じました。また、クルージング体験では、いつもと違う角度から島を眺め、改めてこの地域の豊かな自然や風景の美しさに触れることができました。さらに、学習発表会では、日頃お世話になっている地域の皆様や保護者の皆様の前で、日々の努力と成長の成果を披露することができていました。

いつも温かく見守ってくださる地域の方々のおかげで、子どもたちは毎日少しずつ成長しています。これからも地域の皆様の温かな応援の中で、子どもたちがさらに成長していく姿を見守っていただけると幸いです。



HMと一緒に芋ほり



いつもと違う船に緊張しました



堂々と発表していました！

梶 立人（商店街活性化）

10月は非常に充実した日々を送らせていただきました。六社神社大祭では4つのグループから参加してくれないかとの申し出がありました。私の経験上お祭りはその地域に昔から住んでいる人たちだけで行うものだと思っていました。そんな中で小値賀島の方々は移住してきた私に快くまた、積極的に声をかけてくださいました。本音は4つ全てに参加したかったのですが、現実的に難しいので獅子舞と龍踊りの2つに参加させていただきました。

宵の祭りでは谷商店、Soul Kitchen、KONNE、小辻家の4店舗の共演による唐揚げ販売を行いました。店舗によって味、サイズ、食感が異なりどれも食べ応えのあるものばかりです。あっという間に売り切れてしまいました。それほど美味しいのでぜひ食べたことのない店舗があれば是非行ってみてください。



ちかまる寮ハウスマスター 坂井 佳朋

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかで穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年も地域の皆様の温かいご支援のおかげで、ちかまる寮の寮生たちは多くの経験を積み、大きく成長することができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今月は、チーム「ちかまる寮」として、初めて島内一周駅伝に参加します。

寮生たちは本番に向けて意気込んでおり、皆様の応援が大きな力になります。ぜひ沿道で温かい声援をお送りください。

本年も、島民の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



番岳で1年の締めくくりピクニック

ちかまる寮ハウスマスター 囲 幹夫

10月末をもって、3年間の地域おこし協力隊としての任期を満了致しました。皆さまのご支援のもとで最後まで駆け抜けることができたと思います。

この3年間というのは留学生たちと同じように凝縮された実りある日々を過ごすことが出来ました。地域おこし協力隊は卒隊しましたが、ハウスマスターとしての活動は続けていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



卒隊記念品授与。お疲れ様でした！

梶 立人（商店街活性化）

諫早アエル商店街に商工会青年部の方々と視察に行きました。全国各地の商店街で訪れる方々が減少している中で、なんとかその流れを食い止めるために活動している方が諫早アエル商店街にいらっしゃいます。商工会青年部と一緒に話を伺い、意見交換し商店街に対する考え方や商店街の今後について吸収しました。

小値賀島に訪れる、また移住する若者を少しずつ増やせないかと思い、長崎大学で行われた島嶼事業のイベントにて小値賀島の紹介をしました。修学旅行で長崎市を訪れた高校生や長崎大学生に向けて小値賀島の魅力を発信しました。

また、都会ではなく田舎こそ若者が必要で、大学生はその自由度から需要にマッチしやすいということも説明しました。私の後に1人、2人と続く大学生が現れてくれればと思います。

そして、産業祭りに初めて参加しました。度々小値賀新聞でも書いていますが、1年間小値賀に滞在したことが今までないため全てが私にとって初めてで新鮮です。産業祭りの出店数の多さに大変驚きました。総合体育館の駐車場がギチギチになるまで出店されていた光景は小値賀の産業が活発であることの表れでもあると感じました。私も出店者として、宵の祭り同様に商店街の店舗で提供されている唐揚げを合わせて食べ比べができるように販売しました。次回以降店舗で使えるクーポンくじも発行しました。ぜひ各店舗でお使いください。



ちかまる寮ハウスマスター 坂井 佳朋

2月に入り、寒さが厳しい日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より地域の皆様から温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

12月にハウスマスター指導のもと、かんころ作りとリース作りを体験しました。かんころは皮むきから、リース作りは材料集めから行い、完成までの一連の作業を体験出来ました。完成後は家族にプレゼントして喜んでもらえたと嬉しそうに話してくれました。2月には「母ちゃんの会」の皆様から地元の伝統料理を教わる予定です。地域に根付いた食文化を学ぶ貴重な機会であり、さらに料理作りを通じて地域の皆様との交流を深めることができればと思っております。この取り組みが寮生たちにとって新たな学びと成長につながることを期待しております。

これからも寮生たちが地域とのつながりを大切にしながら成長していけるよう、全力で支えてまいります。今後とも、地域の皆様の温かい見守りを頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



さつまいもの皮むき作業



自分で採取した材料でリース作り

梶 立人（商店街活性化）

商店街にクリスマスイルミネーションを飾りつけました。回覧板で古くなったものや使わなくなったものの寄付を募りました。お陰様でたくさんのイルミネーションをいただきました。冬の商店街には毎年イルミネーションを飾りたいものです。大阪出身の私が思い起こす商店街は神戸のルミナリエでした。阪神淡路大震災からの復興の意味があるためクリスマスのイルミネーションとは異なりますが、やはり圧巻です。おぢかの商店街でも少しずつイルミネーションの数を増やしていきたいものです。

その他に、中高生向けのイベントが尼忠東店で開催されました。九州移住ドラフト会議というイベントで小値賀出身の現役大学生が「おぢかギョギョギョーず NEO」という球団で参加しています。九州に移住を考えている選手を球団が指名します。おぢかギョギョギョーず NEO では3名指名し、そのうちの2名が12月に来島しました。その際に開催されたイベントに参加し中高生と交流しました。テーマは「ギャルマインド」で周りに囚われない自分軸のような考え方をシェアしました。また、学生ということもあり進路相談も受けました。



ちかまる寮ハウスマスター 坂井 佳朋

3月に入り、日差しの中にも少しずつ春の暖かさを感じられるようになりました。いつも地域の皆様には温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

1月26日(日)に開催された「町内一周駅伝大会」では、多くの応援をいただき、誠にありがとうございました。チーム「ちかまる寮」として初めての挑戦でしたが、沿道からの温かい声援に背中を押され、寮生たちは最後まで力を尽くすことができました。学校や寮での生活や大会前の自主練などを頑張り、最後まで走りきったことで、寮生たちは自分の成長を感じ、大きな達成感を得ることができたようです。

また、2月2日(日)には「ふるさとの味・かーちゃんの味つたえよー会」の皆様から味噌作りを教わりました。古くから伝わる食文化に触れながら、寮生たちは真剣に取り組み、貴重な学びの時間となりました。料理作りを通じて地域の皆様と交流を深めることができたことも、大きな喜びでした。

これからも私たちハウスマスターは、寮生が地域の皆様とのつながりを大切にしながら、一步ずつ成長していけるよう支えていきたいと思っています。これからも温かいお声がけや見守りをいただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



前を追います！



在地区を走り抜きました



初体験のみそ作り

梶 立人 (商店街活性化)



地域おこし協力隊
梶 立人さん

先日、佐世保で開催された NEO 朝市に参加いたしました。NEO 朝市は佐世保港の万津町にて毎朝開催されている朝市と、多様な地域の出店者が作りあげる実験的マルシェです。

そこでは小値賀島の宣伝のお手伝いをさせて頂きながら、商店街が参考にできるイベントとして、勉強も兼ねて参加しました。勉強したことを持ち帰り、小値賀で3月に開催するイベントに向けて、おぢかにぎやかそかいの会議を行いました。

地域住民や商店街主体でイベントを行っていくことをテーマに、おぢかにぎやかそかいを設立いたしました。その難しさを感じております。しかしながら、行政主体ではなく地域住民主体でイベントを作り上げていくこと、地元を活性化することは必要不可欠です。小値賀島の発展は行政だけの仕事ではなく、地域の責任でもあります。商店街を中心として、小値賀島全体にこの想いが広がり、地域主導で小値賀島をより魅力的な島にする人が増えていくことを願っております。

